平成 26 年３月 12 日

各　位

会 社 名　株式会社エンバイオ・ホールディングス
代表者名　代 表 取 締 役 社 長　　西　村　実
（コード番号：6092）
問合せ先　取　締　役　管　理　部　長　中 村 賀 一
（TEL. 03-5297-7155）

東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社グループは、本日、平成 26 年３月 12 日に東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社グループの当期の業績予想は以下のとおりであり、また最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【連結】　（単位：百万円、％）

項目＼決算期	平成 26 年３月期（予想）			平成 26 年３月期 第３四半期累計期間（実績）		平成 25 年３月期（実績）	
		構成比	対前期増減率		構成比		構成比
売上高	2,127	100.0	42.4	1,357	100.0	1,493	100.0
営業利益	205	9.7	87.0	183	13.5	109	7.4
経常利益	188	8.9	80.9	166	12.3	104	7.0
当期（四半期）純利益	115	5.4	87.8	98	7.3	61	4.1
１株当たり当期（四半期）純利益	40 円 43 銭			35 円 48 銭		22 円 00 銭	
１株当たり配当金	0 円 00 銭			―		0 円 00 銭	

（注）１．平成 25 年３月期（実績）及び平成 26 年３月期 第３四半期累計期間（実績）の１株当たり当期（四半期）純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。
２．当社は、平成 25 年８月 21 日付で普通株式１株につき 100 株の株式分割を行っております。上記では、平成 25 年３月期の期首に行われたと仮定して、１株当たり当期（四半期）純利益を算定しております。
３．平成 26 年３月期（予想）の１株当たり当期純利益は、公募予定株式数（1,050,000 株）を含めた期中平均発行済（予定）株式数により算出しております。

以上

平成26年3月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年３月12日

上場会社名	株式会社エンバイオ・ホールディングス		上場取引所　東
コード番号	6092	ＵＲＬ　http://enbio-holdings.com/	
代表者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）西村　実	
問合せ先責任者	（役職名）取締役　管理部長	（氏名）中村　賀一	ＴＥＬ　03（5297）7155
四半期報告書提出予定日	―	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無：　無

四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年3月期第３四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年12月31日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第３四半期	1,357	―	183	―	166	―	98	―
25年３月期第３四半期	―	―	―	―	―	―	―	―

（注）包括利益　26年３月期第３四半期　105百万円（－%）　25年３月期第３四半期　－百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第３四半期	35.48	―
25年３月期第３四半期	―	―

（注）１.平成25年３月期第３四半期については、四半期財務諸表を作成していないため記載しておりません。
２.当社は、平成25年８月21日を効力発生日として普通株式１株を100株とする株式分割を行っております。当会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して１株当たり四半期純利益を算定しております。
３.潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、新株予約権は存在するものの、当社株式は平成26年３月期第３四半期においては、非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第３四半期	1,739	726	41.7
25年３月期	1,470	621	42.2

（参考）自己資本　26年３月期第３四半期　726百万円　25年３月期　621百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	―	0.00	―	0.00	0.00
26年３月期	―	0.00	―		
26年３月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,127	42.4	205	87.0	188	80.9	115	87.8	40.43

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※平成26年３月期(予想)の１株当たり当期純利益は、公募予定株式数(1,050,000株)を含めた期中平均発行済(予定)株式数により算出しております。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　　無

③　会計上の見積りの変更　　：　　無

④　修正再表示　　：　　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期３Ｑ	2,785,000株	25年３月期	2,785,000株
②　期末自己株式数	26年３月期３Ｑ	－株	25年３月期	－株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期３Ｑ	2,785,000株	25年３月期３Ｑ	－株

（注）当社は、平成25年８月21日付で普通株式１株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料２ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 1
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 1
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 1
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 2
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 2
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 2
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 2
３．四半期連結財務諸表 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
（５）セグメント情報等 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権の経済政策「アベノミクス」への期待や、日銀による大胆な金融緩和により円高是正と株高が進み、景気回復への期待感から消費マインドも改善するなど、明るさが見えてまいりました。しかしながら一方では、新興国の景気減速や輸入原材料価格の高騰なども懸念されるなど、先行きは引き続き不透明感が残る状況で推移しました。

当社グループの業績に大きな影響を及ぼす不動産市況は、六大都市では地価の下落基調からの転換の動きが明らかになり、また、新設住宅着工戸数も直近の統計では15ヶ月連続で前年同月を上回って推移するなど底堅い動きになってまいりました。当社グループを取り巻く環境も土壌汚染調査及び浄化工事の着手件数が堅調な半面、不動産価格が上昇したためブラウンフィールド活用事業においては既存の不動産会社との仕入れの競争が激化いたしました。

持分法適用会社が事業を展開する中国では、2013年1月に国務院より発表された施策に基づき、法整備を睨んだ国のモデル事業が江蘇省でも具体化されつつあり、それに関連する土壌汚染調査業務が発生いたしました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は1,357,801千円となり、経常利益166,759千円、四半期純利益98,808千円となりました。

以下に各セグメントの状況を報告いたします。

①土壌汚染対策事業

国内につきましては、リピート顧客である石油販売業に加えて、不動産市況の回復を下支えとしてエンジニアリング会社、総合建設業、地質調査業への提案活動を強化してまいりました。

中国につきましては、南京市の化学工場跡地の中規模試験施工の参加、実績を営業材料に地方政府からの情報収集に取り組むとともに、中国内の日系企業向けの営業活動も開始いたしました。

その結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は921,916千円となり、セグメント利益は135,432千円となりました。

②土壌汚染関連機器・資材販売事業

不動産市況の回復を下支えとして、土壌汚染調査及び浄化工事件数が伸びたためかジオプローブマシンのツール及びPVC、鋼管が堅調でした。また、前四半期に引き続きラディアント社製太陽光パネル設置架台及び杭が堅調でした。

その結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は316,273千円となり、セグメント利益は42,139千円となりました。

③ブラウンフィールド活用事業

不動産市況の回復を下支えとして、前期に仕入れて浄化等が完了している物件の販売に取り組みました。また、大手不動産仲介業やクリーニング業界からの情報収集を強化し、ブラウンフィールドの仕入れ活動に取り組みました。

その結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は119,611千円となり、セグメント利益は1,442千円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、1,739,183千円と前年連結会計年度末に比べ268,848千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が270,880千円減少した一方で、受取手形及び売掛金222,453千円、たな卸資産が145,665千円、流動資産その他が前渡金の増加等により23,123千円、有形固定資産が101,460千円、投資その他の資産が投資有価証券の増加等により48,173千円増加したことによるものであります。

②負債

当第３四半期連結会計期間末における負債は、1,013,105千円と前連結会計年度末に比べ163,775千円増加いたしました。これは主に長期借入金が42,562千円減少した一方で、買掛金が13,279千円、短期借入金が148,850千円、未払法人税等が36,081千円増加したことによるものであります。

③純資産

当第３四半期連結会計期間末における純資産は、726,077千円と前連結会計年度末に比べ105,073千円増加いたしました。これは、四半期純利益が98,808千円計上されたことと、為替換算調整勘定が6,163千円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当期（平成26年３月期）におきましては、土壌汚染対策事業におきましては、リピート顧客に加え、エンジニアリング会社、総合建設業、地質調査業への提案活動の強化を行いました。また、土壌汚染関連機器・資材販売事業やブラウンフィールド活用事業におきましても、不動産市況の回復を下支えとして、業容の拡大を図りました。

これにより、当期（平成26年３月期）の業績予想につきましては、売上高2,127百万円（前年同期比142.4%）、営業利益205百万円（前年同期比187.0%）、経常利益188百万円（前年同期比180.9%）、当期純利益115百万円（前年同期比187.8%）を見込んでおります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	802,516	531,635
受取手形及び売掛金	227,491	449,944
たな卸資産	340,167	485,832
その他	32,465	55,589
貸倒引当金	△1,727	△2,592
流動資産合計	1,400,913	1,520,409
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,220	6,896
機械装置及び運搬具（純額）	13,228	10,255
土地	－	99,103
その他（純額）	2,084	1,737
有形固定資産合計	16,532	117,992
無形固定資産	2,577	2,295
投資その他の資産	50,312	98,485
固定資産合計	69,422	218,773
資産合計	1,470,335	1,739,183
負債の部		
流動負債		
買掛金	174,565	187,844
短期借入金	161,100	309,950
1年内返済予定の長期借入金	126,270	131,178
未払法人税等	6,773	42,855
その他	75,971	79,190
流動負債合計	544,680	751,017
固定負債		
長期借入金	304,650	262,088
固定負債合計	304,650	262,088
負債合計	849,330	1,013,105

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,000	90,000
資本剰余金	162,146	162,146
利益剰余金	366,387	465,195
株主資本合計	618,534	717,342
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	173	274
為替換算調整勘定	2,297	8,460
その他の包括利益累計額合計	2,470	8,735
純資産合計	621,004	726,077
負債純資産合計	1,470,335	1,739,183

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	1,357,801
売上原価	928,031
売上総利益	429,769
販売費及び一般管理費	246,098
営業利益	183,671
営業外収益	
受取利息及び配当金	170
デリバティブ評価益	1,156
保険解約返戻金	1,610
その他	1,854
営業外収益合計	4,792
営業外費用	
支払利息	7,789
持分法による投資損失	9,465
その他	4,448
営業外費用合計	21,703
経常利益	166,759
税金等調整前四半期純利益	166,759
法人税、住民税及び事業税	67,146
法人税等調整額	804
法人税等合計	67,951
少数株主損益調整前四半期純利益	98,808
四半期純利益	98,808

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	98,808
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	101
持分法適用会社に対する持分相当額	6,163
その他の包括利益合計	6,264
四半期包括利益	105,073
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	105,073
少数株主に係る四半期包括利益	－

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
当第３四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	土壌汚染対策事業	土壌汚染関連機器・資材販売事業	ブラウンフィールド活用事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	921,916	316,273	119,611	1,357,801	－	1,357,801
セグメント間の内部売上高又は振替高	10,952	13,167	562	24,681	△24,681	－
計	932,868	329,440	120,173	1,382,483	△24,681	1,357,801
セグメント利益又は損失（△）	135,432	42,139	1,442	179,013	△12,254	166,759

（注）　１．調整額は、以下のとおりであります。
セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去△44,059千円及び報告セグメントに帰属しない親会社に係る損益31,805千円であります。
２．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整しております。

２.報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。